

研究職・技術職女性職員キャリア採用 募集分野

No.1

(1) 募集テーマ	廃棄体化材料の長期安定性に関する研究開発
(2) 職種	技術職
(3) テーマの業務内容	低レベル放射性廃棄物の埋設処分の実現及び高度化に資するため、廃棄体及び埋設施設に用いられるセメント系材料の物性、長期安定性等に関する試験を行い、埋設処分の実現に必要なデータを取得する。得られたデータを元に、埋設処分の高度化に向けてセメント系材料の長期変質に関するモデル化を行う。また、試験実施に必要な試験資機材（薬品、分析装置等）及び施設（フード等）の管理を行う。
(4) 求める人物像	廃棄体化及び埋設施設の建設に用いられる、セメント系材料の高度な知見を有し、自身で実験等を行い、データの取得及び評価ができる方。 施設等管理を含む業務全般において、所のルールを遵守し、課員とコミュニケーションを取りながら、業務を進められる方。
(5) 応募資格	工学系、理学系（土木、材料系）の修士号、博士号を持つもの。
(6) 専攻分野（望ましい分野）	理学系：化学、物理（結晶、構造、物質移動に関する分野） 工学系：材料、土木、化学工学 その他：
(7) 関連するHP	
(8) 勤務地（予定）	茨城県那珂郡東海村内

No.2

(1) 募集テーマ	地質試料の精確な分析を進めるための装置維持管理等業務
(2) 職種	技術職
(3) テーマの業務内容	わが国の地層処分事業の進展に伴い、地層処分の事業・規制への長期にわたる着実な支援の重要性が増している。この支援の核心は、『地層処分研究開発に関する全体計画』に課題として明記されているように、自然現象の影響を評価する技術の信頼性の向上にある。この信頼性の向上は、精確な分析に基づく新たな科学的知見の継続的創出により達せられる。時宜を得た研究成果の創出を図り、地層処分事業への長期支援体制を担保するため、東濃地科学センターに所在するLA-ICP-MS、EPMA、XRF、XRD等、多くの化学的・鉱物学的分析装置を対象として、分析精度維持のための日常点検や分析対象試料に応じた分析設定等の維持管理業務を、他機関等での経験を活かしつつ、研究職のニーズを踏まえながら主体的に実施する。経験や有する技術に応じて、分析試料の前処理、機器分析やデータ処理、関連する薬品管理など、センターでの分析業務を安全にかつ滞りなく実施し、技術を普及・継承するための成果発表や報告書作成等の業務も担当する。
(4) 求める人物像	分析結果の公表が研究機関の科学的・技術的信頼性に与える極めて大きな影響を理解し、その分析結果の質を支える分析装置維持管理業務のプロフェッショナルとして、経験に基づく視点を活かしつつ、装置維持管理技術の向上や研究上のニーズに関する他の技術者・研究者との協働に率先して取り組むことのできる人物。
(5) 応募資格	ICP-MS、EPMA、SEM-EDS、XRF、XRDのうち、複数の装置の取り扱いに関する業務経験を有することを必須とする。 危険物取扱者甲種を保有することが望ましい。
(6) 専攻分野（望ましい分野）	理学系：分析化学、地球化学、同位体宇宙地球化学、環境化学、地質学 工学系：表面分析や分光分析など、化学組成や物質分布、分子構造等を解明する手法を用いた研究分野 その他：
(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/tono/
(8) 勤務地（予定）	岐阜県土岐市内

No.3

(1) 募集テーマ	高速炉・新型炉研究開発に係る業務
(2) 職種	技術職
(3) テーマの業務内容	<p>当研究所は、革新炉（高速炉や高温ガス炉等）開発のための試験研究炉、照射後試験施設等における運転・試験に関連する技術開発、並びに廃止措置・放射性廃棄物処理処分に係る技術開発を柱に、以下の業務を国内外の関係機関とも連携協力しながら実用的な研究開発・技術開発を進めています。</p> <p>○高速炉サイクル技術開発 高速炉サイクル開発に必要な要素技術開発及び関連研究施設（高速実験炉「常陽」、高速炉研究開発関連施設、核燃料施設、機器開発試験施設等）を活用した試験、並びに各施設・設備の運転、点検、保守等に関する業務</p> <p>○高温ガス炉及び熱利用技術の技術開発 高温工学試験研究炉「HTTR」及び関連施設の設備運転、試験、点検、保守等に関する業務</p> <p>○材料試験炉等の廃止措置及び関連技術開発業務 材料試験炉（JMTR）及びJMTRホットラボの施設管理、及び廃止措置のための技術開発等に関する業務</p> <p>○廃止措置・放射性廃棄物処理処分技術開発 重水臨界実験装置（DCA）等の原子力施設の廃止措置技術開発や廃棄物管理施設及び固体廃棄物減容処理施設（OWTF）等の設備運転、試験、点検、保守、並びに放射性廃棄物処理処分のための減容や分析等の技術開発等に関する業務</p> <p>○安全管理等支援業務 研究所における安全管理、核物質防護、各施設のインフラ管理・工事監理等研究開発の支援業務</p>
(4) 求める人物像	<p>○原子力の研究開発には社会との対話による理解促進が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーとの交流を深めながら研究開発を進められる前向きでバイタリティのある人材。</p> <p>○常に好奇心と向上心を持ち、かつ、技術の深さと広がりを持ったエンジニアの育成を目指し、原子力のみならず、電気、機械、化学、材料などの工学、理学をはじめ幅広い人材。</p>
(5) 応募資格	<p>応募時点で在学中でない方であって、次の要件を満たす方 大学卒業以上の学歴を有する方（原子力系、理工学系の学科を専攻した方が望ましい）</p>
(6) 専攻分野（望ましい分野）	<p>理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：</p>
(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/research_04.html
(8) 勤務地（予定）	茨城県東茨城郡大洗町内

No.4

(1) 募集テーマ	新型転換炉原型炉及び高速増殖原型炉の廃止措置技術の研究開発に関する分野
(2) 職種	技術職
(3) テーマの業務内容	<p>数ある原子炉施設のなかでも「ふげん」及び「もんじゅ」は、国内唯一の新型転換炉原型炉、高速増殖原型炉として、その廃止措置はわが国初の取組となる。海外原子力関係機関の協力を通じて、新型転換炉原型炉「ふげん」及び高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃止措置の進展に応じた新技術開発及び既存技術の応用開発を行う。また長期にわたるプロジェクトを完遂させるためのマネジメント（最適解体工法選定、解体作業統括、廃棄物管理、放射能評価等）を行う。</p> <p>原子炉の廃止措置には種々の技術が必要であり、原子力分野のみならず土木建築等も含めた幅広い分野での技術系職員を募集する。</p>
(4) 求める人物像	<p>国内で前例のない廃止措置を進めるため、「新たな取り組み」に対して職場の仲間と協力し、柔軟な発想力で取り組むことができる人。廃止措置は様々な技術が求められるため原子力工学に限らず、各技術（遠隔・自動化を含む解体技術、廃棄物リサイクルを含む廃棄物処理システム技術、土木建築等）の専門家として活躍していきたいと考えている人。</p>
(5) 応募資格	<p>電気主任技術者、ボイラー技士、高圧ガス製造保安責任者、放射線取扱主任者、衛生管理者、毒物劇物取扱責任者、公害防止管理者、危険物取扱者等の資格を有している方が望ましい。または、発電所、プラント施設（原子力施設を含む）等での運転業務または保守管理業務の実務経験者が望ましい。</p>
(6) 専攻分野（望ましい分野）	<p>理学系：数学・情報、物理、化学、生物、農学、バイオ、地学・地球科学等 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、放射線、原子力工学等 その他：社会科学、総合科学</p>
(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/haishisochi/
(8) 勤務地（予定）	福井県敦賀市内

(1) 募集テーマ 放射性廃棄物等の分析自動化に向けた化学分離の要素技術開発

(2) 職種 研究職

(3) テーマの
業務内容

原子力科学研究部門 原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター 化学・環境・放射線ディビジョンでは、原子力発電等により発生する放射性廃棄物に含まれる放射性核種を迅速に分析するための手法として、前処理化学分離と計測を一体化する化学分析の自動化技術開発を進めています。
本テーマにおいては、機器分析のための前処理化学操作である分析対象核種の化学分離と化学状態の制御等をフロー化し、計測装置に直接導入するための技術開発を実施します。本研究遂行に必要な実験に熱意をもって取り組み、放射性核種の取扱い及び化学分析法の研究開発経験と専門的な知識を有する方を募集します。

(4) 求める人物像

研究を積極的に推進するため、外部資金(科研費等)の獲得経験、及び国際学会での議論や国際協力推進のための英語による科学的・技術的議論を行うことができる語学力が求められます。

(5) 応募資格 大卒以上

(6) 専攻分野 (望ましい分野)

理学系: 化学

工学系: 化学

その他:

(7) 関連するHP <https://nsec.jaea.go.jp/nucchem/index.html>

(8) 勤務地 (予定) 茨城県那珂郡東海村内